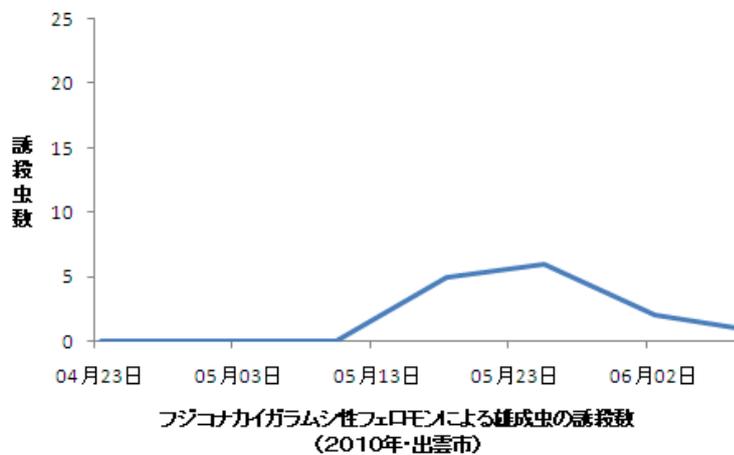


# カキのフジコナカイガラムシの第1世代防除適期の予測 (出雲市)

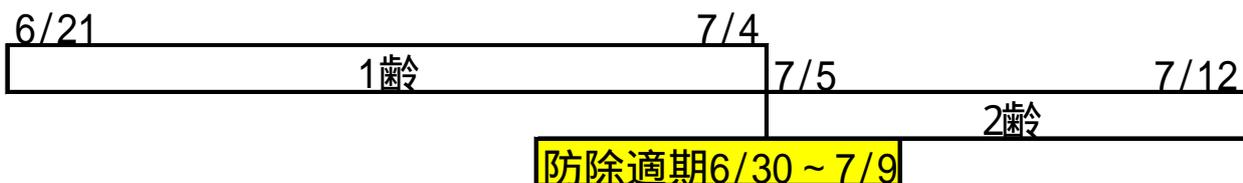
予想防除適期：6月30日～7月9日(6月14日計算)

島根県病害虫防除所

予測の根拠：フェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月23日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の誘殺数の上昇は5月18日に認められた。



誘殺数が上昇し始めた5月18日を起点とし平均気温(6月9日までは2010年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第1世代)の発生時期を予測すると1齢期6月21日～7月4日、2齢期7月5日～7月12日となり、防除適期は6月30日～7月9日と推定された。



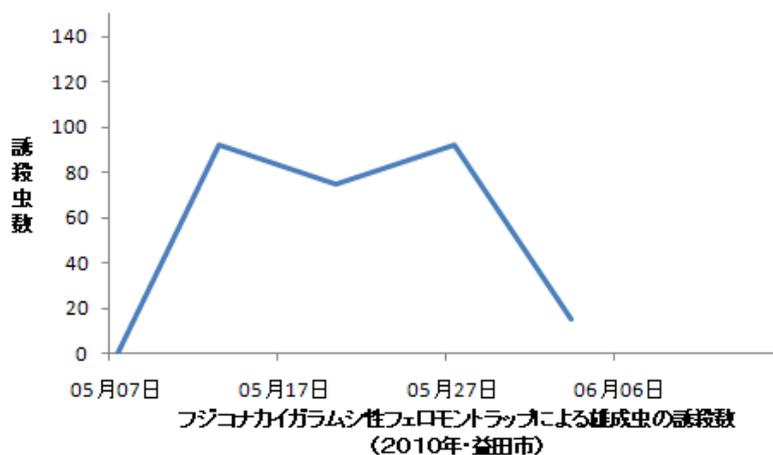
参考：フジコナカイガラムシ防除の最も重要な防除時期は第1世代の若齢幼虫期とされている(例年6月下旬)。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、今回このデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って今後の発生を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。

# カキのフジコナカイガラムシの第1世代防除適期の予測 (益田市)

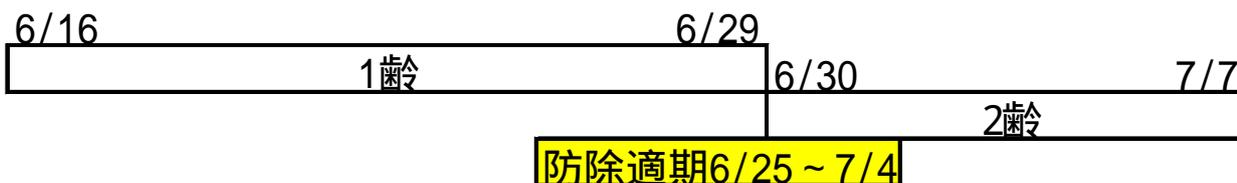
予想防除適期：6月25日～7月4日(6月14日計算)

島根県病害虫防除所

予測の根拠：フェロモントラップを益田市遠田町のカキ園に5月7日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の誘殺数の上昇は5月13日に認められた。



誘殺数が上昇し始めた5月13日を起点とし平均気温(6月9日までは2010年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第1世代)の発生時期を予測すると1齢期6月16日～6月29日、2齢期6月30日～7月7日となり、防除適期は6月25日～7月4日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシ防除の最も重要な防除時期は第1世代の若齢幼虫期とされている(例年6月下旬)。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、今回このデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って今後の発生を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。